＜社会福祉学部社会福祉学科（社会福祉専攻）のアドミッションポリシー＞

〔使命と教育理念〕

「同朋和敬」の精神を建学の理念とし、本学部は 1961（昭和 36）年に文学部社会福祉学科として創立されて以来、この理念を礎に同朋福祉を実践してきました。1984（昭和 59）年には社会福祉学部社会福祉学科となり、現在では「社会福祉専攻」「子ども学専攻」の二専攻を設けています。

社会福祉専攻では「社会福祉専門職」の養成を目指し、さらに社会貢献をも目指しています。本専攻では以下のことに意欲を持って取り組む人を求めています。

〔期待する学生像〕

１．「同朋和敬」の精神に立脚し、社会福祉に関する基礎的な知識・技能を学ぶことができる人。

２．その知識・技能を活用して自ら課題を発見し、その解決に向けて探求することができる人。

３．それらの成果等を表現するために必要な思考力・判断力等の能力を身につけたいという意欲のある人。

〔高校段階での修得が望ましい教育内容〕

１．高校までの基礎的な知識とともに読む・書く・考える等の基礎的能力を有している。

２．社会福祉の支援を必要とする人々の生活に関心があり、ともに考える姿勢・意欲をもっている。

３．社会的な諸課題や活動に関心をもち、主体的に行動するなど課題解決に向けた意欲を有している。

４．他者とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな人とつながり協働しつつ学修する心構えを身につけている。